

— はじめに —



本県の「環境白書」は、1971年に初刊を発行し、今年でちょうど50年を迎えました。1971年当時は、工場等を発生源とする「産業公害」が全国で大きな社会問題となり、本県においても県民生活に深刻な影響をもたらしていました。

また、1980年代以降、自動車の急増や人口・住宅の過密化による「都市・生活型公害」やグローバル化した社会経済活動等に起因する地球温暖化、生物多様性の損失などの「地球環境問題」が顕在化するなど、半世紀の間に環境に関わる課題は大きく形が変化してきました。

さらに、近年、環境・経済・社会の諸課題を統合的に解決することを目指すSDGs（持続可能な開発目標）への取組が国際社会全体で進められています。

こうしたことを踏まえ、今回の環境白書の「特集1」では、この50年を節目と捉え、法令の整備、規制強化による産業公害の克服、多様化・複雑化する地球規模の環境問題に対する本県の取組などを紹介します。

また、「特集2」では、全国トップレベルのZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を目指し、新エネ・省エネ技術などを積極的に導入して2020年4月に全面供用開始した「愛知県環境調査センター」と、同センターの1階に、持続可能な未来の社会を担う人づくりを進めるため、環境学習の拠点としてリニューアルした「あいち環境学習プラザ」を紹介します。

2020年は新型コロナウイルス感染症を発端とした新たなライフスタイルへの転換期でもありました。今後は、感染症対策を行いながら、SDGsの考え方も活用し、持続可能な社会の構築に向けた取組を推進してまいります。

最後に、この環境白書が、愛知の環境についての理解を深め、また、県民、事業者、関係団体の皆様がそれぞれの立場から環境をよりよくするための取組を進めていただくきっかけとなれば幸いです。

2020年12月

愛知県知事 大村秀章

目次

第1部 特集

特集1 「環境白書」50年に見る愛知の環境のあゆみ	1
特集2 愛知県環境調査センターのリニューアル	11

第2部 令和元年度の環境の状況と施策

第1章 地球温暖化等	17
第1節 地球温暖化	17
第2節 オゾン層保護とフロン類対策	29
第2章 大気環境	33
第1節 環境の状況	33
第2節 大気環境保全に関する施策	39
第3章 交通環境	42
第1節 自動車交通環境	42
第2節 航空機騒音	49
第3節 新幹線鉄道騒音・振動	50
第4章 生活環境（騒音、振動、悪臭）	51
第1節 概況	51
第2節 騒音・振動	51
第3節 悪臭	54
第5章 水環境	56
第1節 環境の状況	56
第2節 水環境保全に関する施策	65
第6章 土壌環境	81
第1節 環境の状況	81
第2節 土壌汚染防止のための施策	81
第7章 地盤環境	83
第1節 環境の状況	83
第2節 地盤環境保全に関する施策	85
第8章 廃棄物・資源循環	86
第1節 環境の状況	86
第2節 廃棄物・資源循環に関する施策	91

第9章 自然環境・生物多様性	116
第1節 環境の状況	116
第2節 自然環境保全に関する施策	117
第3節 生物多様性の保全と施策	137
第10章 環境リスク	145
第1節 化学物質の適正管理	145
第2節 ダイオキシン類対策	148
第3節 内分泌かく乱化学物質	150
第4節 環境放射能	151
第11章 人づくり・環境学習等	156
第1節 人づくりの推進	156
第2節 環境学習等の推進	161
第3節 SDGs 達成に向けた「人づくり」の推進	166
第4節 国際環境協力の推進	166
第12章 環境における各種基盤施策	168
第1節 公害の防止、健康被害者の救済	168
第2節 環境影響評価の実施	172
第3節 企業の環境保全活動の支援	176
第4節 県の事務・事業における環境配慮の推進	176
第5節 環境に関する調査・研究	179
第13章 第4次愛知県環境基本計画の進捗状況	183

資料編

大気環境	(1)
騒音・振動・悪臭	(11)
水環境	(17)
土壌環境・地盤環境	(33)
廃棄物・資源循環	(41)
自然環境	(43)
組織・法体系等	(49)
環境行政年表	(59)

クローズアップ 目次

・新たに「地球温暖化対策計画書」に対する評価を開始しました	20
・放課後子ども教室で「ストップ温暖化教室」を開始しました	21
・気候変動への適応を推進しています	23
・全国で初めて低炭素水素製造に係る認証を行いました	26
・フロン排出抑制法が改正されました	32
・アスベスト（石綿）の飛散防止対策を推進しています	41
・「EV・PHV・FCV 普及加速フォーラム」を開催しました	46
・「干潟・浅場・藻場のはたらき～三河湾の環境再生に向けて～」を作成しました	73
・「あいち環境塾」の卒塾生による地域実践活動	97
・食品ロスの削減に向けた取組について	101
・「海ごみ減らそうプロジェクト・ごみゼロ社会推進あいち県民大会」の開催	103
・「レッドデータブックあいち 2020」を作成しました	121
・豚熱の拡大防止に向けた野生イノシシ対策を実施しています	126
・県民参加型生物多様性モニタリング調査を開始しました	138
・「生物多様性 あいち学生プロジェクト」が始動しました	139
・「あいち・なごや生物多様性 EXPO」を開催しました	140
・家庭でできる環境学習 Web ページ 「あいち環境学習プラザ 自宅講座～家庭でやってみよう～」を作成しました	163
・「もりの学舎」の来館者が 60 万人に達しました！	164
・SDGs の担い手を育成するための研修・シンポジウムを開催しました	167
・環境に配慮して豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業を行っています	175

凡例

- ◆ 年（年度）の表記は、原則として西暦を使用し、公的文書の引用等の場合は和暦を使用しています。